

322号  
2025年  
1月

# 日赤みやぎ



▲NHK海外たすけあいキャンペーンオープニングセレモニー(令和6年12月) 青少年赤十字加盟園のミッキー北仙台こども園の園児が元気いっぱい募金を呼びかけました。

## 新年のご挨拶(令和7年)

明けましておめでとうございます。県民の皆様には、日頃から赤十字の活動に対しご理解とご協力を賜り、心から感謝申し上げます。

昨年は、1月に発生した能登半島地震をはじめ、数多くの自然災害が発生しました。被災された皆様には心よりお見舞いを申し上げますとともに、被災地の1日も早い復興をお祈りいたします。

日本赤十字社は、発災直後から被災地での医療救護活動やこころのケア活動を展開しています。能登半島地震や7月の秋田・山形両県の大雨災害の際には、宮城県支部からも職員・ボランティアを派遣し、被災地での災害救護活動に従事しました。

また、ウクライナやイスラエル・ガザ、レバノンでの人道危機への支援など、世界中の人々を救う国際活動も赤十字の重要な役割のひとつであり、今、「人間のいのちと健康、尊厳を守る」赤十字の使命とその活動に対する期待は、ますます高まっています。人道の実現のために、今後とも皆様のお力添えを賜りますようお願い申し上げます。



日本赤十字社宮城県支部  
支部長 **村井 嘉浩**



「自助」と「共助」の力を高め、  
人々のいのちを守りたい!

# 赤十字防災セミナー



災害から、あなたと周囲の人々のいのちを守るように、  
「赤十字防災セミナー」に参加してみませんか?

災害の規模が大きくなるほど、発災初期の外部からの支援は期待できません。

私たちは、過去の災害から得た教訓を踏まえ、将来発生が予測されている大規模災害から人々のいのちを守るためには、地域コミュニティにおける「自助」と「共助」の力を高める防災教育が極めて重要だと考えています。

赤十字防災セミナーを通じて、皆さん一人ひとりが災害と向き合い、被害をより小さくするために必要な備えについて一緒に考え、話し合しましょう。

## 赤十字防災セミナーカリキュラム

「初めて考えることでいろいろと気付くことができた」

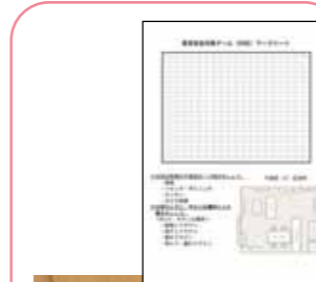
「実際の時も活かせたらと思います」



受講者の声



「DIG」の様子



「KAG」の様子



「ひなんじょたいけん」の様子

- 1 日本赤十字社の紹介 (10分)**  
日本赤十字社の現在の活動内容や、災害時の役割、防災・減災への取り組みについて理解する。
- 2 災害への備え (約60分間)**  
災害・防災についての考え方や地震・大雨災害など災害別の想定被害等から、平時の備えの重要性を理解する。
- 3 災害エスノグラフィー (約60分間\*約120分間)\*トライアル実施中**  
大規模災害の被災者の体験談を通じて、災害を体験することで被災の具体的なイメージを理解する。
- 4 災害図上訓練 (DIG: Disaster Imagination Game) (約120分間)**  
地域の防災マップの作成を通じて、防災上の資源や危険箇所等を把握・理解し、個人や地域での防災対策の実施につなげる。
- 5 家具安全対策ゲーム (KAG) (約30分間)**  
**うちのキケン (約45分間)**  
自宅 (部屋) の平面図を描くゲームを通じて、地震で起こる被害や危険な場所を把握し、自らが家具の安全対策の必要性を理解する。
- 6 ひなんじょたいけん (約90分間)**  
避難所を作るカードゲームを通じて、大地震における避難所生活の一部を体験し、「避難者の目線で心がける要点」を理解する。  
※今後も新規カリキュラムの追加を予定しています。

必要なカリキュラムを選択・組み合わせることで実施

地域住民の  
防災・減災に関する  
知識・意識・技術の  
普及向上

地域における  
災害発生時の  
応急対応にあたる  
リーダー層の育成

セミナー紹介動画はこちら(YouTube)



### 令和6年度上期セミナー開催場所



日本赤十字社の防災教育事業では、受講者が被災のイメージを構築することにより、発災初期のいのちを守る具体的な方法を習得することに重点を置いています。

お住まいの地域のニーズ等にあわせて、各カリキュラムを単独、また組み合わせることで実施できます。

なお、宮城県支部独自のメニュー(段ボールベッドの組み立て体験、防災O×クイズなど)もございます。

防災セミナーを検討中の地域・町内会等ございましたら、事業推進課(☎022-725-7530)までお問い合わせください。

# 宮城県支部のトピックス



## 北海道での合同訓練に参加 ～避難所巡回の迅速かつ的確な実施のために～

10月4日～5日、日本赤十字社第1ブロック支部(北海道・東北のエリア)合同災害救護訓練が北海道赤十字看護大学(北見市)を会場に行われました。

この訓練は、救護班が災害時に避難所巡回をする際に、日赤に求められる避難所のアセスメント(評価)や環境改善について迅速かつ的確に行えるよう、活動の知識や技術を習得し、関係団体等と連携を強化することを目的としております。

また、会場が北海道であることや、能登半島地震の救護活動の事例を踏まえ、厳冬期に災害が起きた時にどのような状況が想定されるかなどの講義もあり、参加した救護班はみな真剣な眼差しで聞き入っていました。

引き続き、頻発する様々な災害に対応できるように訓練や準備を進めていきます。



▲避難者へアセスメント中の救護班

## ワールド・ファーストエイド・デー2024を開催しました

赤十字では9月の第2土曜日を「ワールド・ファーストエイド・デー」と位置づけ、毎年全世界の赤十字・赤新月社がさまざまなイベントを開催し、救命手当や応急手当の方法等、事故予防のための知識と技術の普及に努めています。

当支部では、9月14日(土)にイオンモール新利府北館で、9月15日(日)にイオンモール石巻で一次救命処置体験(心肺蘇生・AEDの使い方)を実施しました。

当日は多くの皆様にご来場いただきありがとうございました。今後も、人のいのちと健康を守るため、赤十字講習の普及に努めていきます。



▲多くの皆様に体験いただきました!

## 「宮城県JRC100周年チャリティーフェスティバル」を開催しました!



▲皆様の温かいお気持ちに深く感謝申し上げます。

9月29日(日)に仙台市のサンモール一番町商店街・藤崎本館前で「宮城県JRC100周年チャリティーフェスティバル」を開催しました。

本イベントは、宮城県で青少年赤十字(JRC)の活動が始まってから100年を迎えたことを記念し、中学生・高校生のJRCメンバーが中心となって企画しました。当日も32名のJRCメンバーが赤十字・JRCの紹介や災害義援金・海外救援金への募金の呼びかけなどを積極的に行いました。イベントを通して、ご来場者の皆様から10万円を超える募金をお寄せいただきました。

また、多くの方にJRC加盟校による合唱や演奏、缶バッジ作りなどの工作や赤十字〇×クイズなどを楽しんでいただき、JRCメンバーからも「赤十字のこと、JRCのことを沢山のの人に伝えることができ良かったです。」という感想が聞かれました。

# 宮城県内施設のトピックス



## 仙台赤十字病院

### 開院100周年を迎えました

令和6年10月18日、当院は開院100周年を迎えました。当院は、大正13年に日本赤十字社宮城県支部診療所として、仙台市北一番丁に開設され、二度目の新築移転で、現在の八木山にやってきました。これまで当院を支えてくださった全ての方々に感謝申し上げます。

「誰もが来てよかったと思える病院」をモットーに、次なる100年に向け、よりよい医療を提供できるよう、職員一同精進してまいります。引き続き、ご支援・ご指導のほどよろしくお願いいたします。



▲現在の仙台赤十字病院



▲日本赤十字社宮城県支部診療所

## パセオドライビングカレッジと教習コースの提供に関する覚書を締結しました

パセオドライビングカレッジ(河南安全自動車学校)と車の走行訓練における教習コースの提供に関する覚書を締結しました。

現在、当院では11台の救護車両を保有しており、大規模災害が発生した際、救護班は救護車両に医療資機材や必要物品を積み被災地へ出動します。しかし、救護車両を安全に運転できる職員は限られております。そのため、パセオドライビングカレッジから教習コースの提供を受け、運転技術の向上及び事故防止を図ることができる体制を構築しました。

平時から職員が車両の特徴等を理解することで、迅速かつ安全に出動できるよう備えを進めていきます。



▲7月に行われた覚書締結の様子

## 宮城県赤十字血液センター

### アイリスオーヤマ製「パックごはん15,000袋」寄贈 ～献血協力向上を期待し、アイリスオーヤマ株式会社が寄贈～



▲寄贈の様子

アイリスオーヤマ株式会社様から、献血者確保の取組みに役立ててほしいと、パックごはん「低温製法米のおいしいごはん®」15,000袋(150g×3)をご寄贈いただきました。9月4日(水)、当センターで寄贈式を行い、アイリスオーヤマ株式会社田中管理部長から「若い世代の背中を押すきっかけになれば」と期待を込めて鈴木所長に送られました。

輸血を必要とする患者さんへ輸血用血液を届けるため、今後も継続的なパートナーとして相互扶助の活動を目指していく予定です。

## 宮城県支部のSNSを紹介します

宮城県支部では  
各種SNS (Facebook・Instagram)  
を開設しております。  
昨年7月には新たにInstagramを開  
設し、紙面ではお伝えすることができ  
ない、宮城県支部のリアルタイムの情  
報をお伝えしております。  
皆さんからのフォローをお待ちして  
おります!

フォロー待ってるガー!



Facebook  
@redcrossmiyagi



NISSEKI\_MIYAGI  
Instagram  
@nisseki\_miyagi

## チャレンジ防災セミナーを開催します!

「いのちを守る」自助・共助の知識を育み、防災の知識および災害時に役立つ手当などの知識や技術を、年齢問  
わず身に付けてもらうため、下記のとおり開催します。

ご興味のある方は、当支部ホームページからお申し込みください!(下記QRコードからアクセスできます。)

### チャレンジ防災セミナー

日時: 令和7年3月1日(土) 10:00~12:30 ※1ヶ月前から募集開始

会場: 日本赤十字社宮城県支部(仙台市泉区市名坂字石止44番7)

内容: 災害への備え・防災クイズ、避難所設営体験、災害時に役立つ手当、施設見学



右のQRコードを読み込み、当支部のホームページにアクセスして、  
ホームページトップ→【イベント】チャレンジ防災セミナー」内のURLからお申し込みください。

## お役立ち情報

## 非常食かんたんレシピ



### \* アネちゃんの \* かんたんごはん帳

Vol.32  
白菜のクリーム煮風

非常時には、新鮮な乳製品が入手できない事も  
考えられますよね。そんな時に牛乳の代わりに  
使えるのがコーヒー用の粉末乳製品。生乳のみ  
から作られているものは、風味もよい上、溶け  
やすく、料理やお菓子作りにもってこいです。  
常温保存できる粉チーズと一緒にローリング  
ストックすることをオススメします。未開封で  
の賞味期限も、粉末乳で18ヶ月、粉チーズで  
9ヶ月と長め。※一般的な商品の場合  
またどちらも、ちょい足して味変にも使えます。  
特に粉末乳は無塩なので、塩分を気にせず使  
えます。試してみたところ、シーフード味、カレー  
味、醤油味のカップ麺が新しい美味しさになっ  
て、同じような食事が長く続くような時に、あ  
りがたい存在になると思いました。こちらの  
白菜煮も粉末乳でぜひお作りくださいな。

アネ(牧野純子)  
イラストレーター・FCAJ認定フードコーディネーター  
仙台市在住 赤十字防災ボランティア  
出版社、CM制作会社を経てフリーランスとして活動中

### \* 材料 (1人分)

- A 水…大さじ1 粉末乳…大さじ2
- B 白菜(一口大に切る)…200g程度  
※お茶碗すり切り2杯分  
にんじん(短冊切り)…20g程度(1/8本)
- C 焼き鳥缶詰(塩味)…1個(50g程度)  
or ランチョンミート缶(短冊切り)…1/8缶
- D 粉チーズ・顆粒コンソメの素・コショウ…適量

### \* 作り方

1. Aを耐熱ポリ袋に入れ、袋の外からよく揉む。
2. 1の袋にBとCのいずれかを入れる。
3. 2の袋の空気を抜いて、できるだけ袋の上  
の方をしっかり結ぶ。
4. 鍋にたっぷりの水と3を入れ、沸騰してから  
20~30分加熱し、器に盛り付ける。

※ポリ袋破損防止のため鍋底にザルや耐熱皿を入れる  
※お子様や高齢者用は、柔らかくなるよう長めに加熱  
※他の野菜や(キャベツ・ブロッコリーなど)や、きのこ  
などでも美味しくできます



※写真は倍量(2種類)の白菜のクリーム煮風です

